



風っ子・環境キャンペーン

富岡市

花のパワーを実感 花植えでゴミがゼロに

一ノ宮地区地域づくり協議会

約1500年の歴史を持つ貫前神社。大きな鳥居の横にある公園の花壇は、いつもきれいに手入れされています。

管理しているのは、市内にある一ノ宮地区地域づくり協議会の地域環境美化推進委員会。5年前から年に2回、花



植えたばかりのマリーゴールドの前に、花植えボランティアに参加したみなさん

「この花壇は、昔、池だったんですよ」と教えてくれたのは、同会の斉藤太一さん。いつからか池に、空き缶やレジ袋などのごみが浮かぶようになったそうです。そこで、神社の小林*宮司さんに相談し、埋め立てて花壇に変身させました。今では、地域の5人の区長が種から育てたマリーゴールドやパンジーを、地元の西中学校(宮崎)と一ノ宮小学校(一ノ宮)のボランティアと一緒に植えています。花壇がきれいになったら、ごみは一切なくなったそうです。

今年7月7日のマリーゴールド植えには、児童生徒21人と、先生、区長、一ノ宮公民館スタッフなど総勢32人が参加。参加者は、区長たちが育てたおよそ400株の花苗を30秒間隔でいねいに植えました。



間隔をはかりながら黄色とオレンジを交互に植えます

「役に立ちたいと、昨年に続いて2度目の参加です。貫前神社を訪れる人たちに喜んでもらえたらうれしいです」とうれしそうに話しました。みんなが植えた花の力できれいな環境が守られます。

風っ子・環境キャンペーンを応援します

一ノ宮地区地域づくり協議会

小林清孝会長
富岡市一ノ宮1702(一ノ宮公民館内)
TEL:0274-62-2004
創立/2013(平成25)年
<http://www.city.tomioka.lg.jp/www/contents/1430461533248/index.html>

一ノ宮地区の特性を生かした、地域づくり活動を進めています。花植えボランティアのほか、小中学生の優秀標語作品を看板にして設置し、子どもたちの健全な成長を応援しています。



1カ月後にはきれいに咲きそろったって。楽しみだね。

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」 許諾第29-110989号

身近にできるエコ活動

ごみの分別をしよう!

ごみを捨てる前に、これは何かな?と考えてみましょう。紙、缶、ビン、段ボール、プラスチック(地域によって異なる)、牛乳パック…。これら資源を分けて出せば、燃やすごみはとも減ります。平成28年度の群馬県民1人1日当たりのごみ排出量は全国ワースト5位。一方、隣の長野県は、なんと全国トップの1位です。分別を手伝え、家の方も喜ぶます。

群馬県環境アドバイザー 梅山さやか